

KiKiの広場

2018年 1月 1日

cafe NO.87
KiKi



あけましておめでとうございます！

今年は戌年。犬と人との歴史は古く、古代ギリシャやメソポタミアでは、飼い犬が壺などに描かれていたとか。日本でも、縄文時代の遺跡から犬の骨が発掘されているそうです。現在でも、警察犬や災害救助犬、補助犬として、人との関わりが最も深い動物ではないでしょうか。2018年は「戌戌（つちのえ いぬ）」。似たような漢字が並んでいますが、実はこの漢字は正反対の意味を持つそうです。つまり今年、「良いことは、より良く。悪いことは、より悪くなる。」という、かなり極端な傾向にあるとのこと。それでは、失敗を恐れず、失敗してもくよくよせず、うまくいってもおごらず、勇気をもって新しい目標に向かって努力することを心がけたいと思います。

みなさま、今年もどうぞ、よろしくお願いたします。



| 1月の予定 | |
|-------|-------------|
| 休館日 | 9日(火) |
| 定休日 | 毎土・日曜日 |
| 臨時休業日 | 5日(金)・8日(月) |



「今月のケーキ」…「リンゴのタルト」350円

カットの大きいりんごをふんだんに使い、シャキシャキ感たっぷりです。タルト生地も香ばしく仕上がっており、甘さをひかえたさわやかなタルトです。



今月のお気に入り…「冬を楽しむ絵本」

～「しんせつなともだち」「ゆきのひのおくりもの」「ゆきのねこ」「こよみともだち」「アンナの赤いオーバー」などなど～



「しんせつなともだち」は、友だちを思う優しさにあふれた絵本です。登場する動物たちみんな、愛しくて抱きしめたくくなります。中国の絵本「夢ト回来了」が元と言われていますが、このお話は、朝鮮戦争時、慰問団から贈られたひと籠の林檎が譲り合い贈り合いされた後、再び最初の慰問団へプレゼントされたという実話から生まれたそうです。実は、「ゆきのひのおくりもの」も同じ本を元に再話された絵本です。お話の展開はほぼ一緒ですが、登場する動物が、「ろぼとうま」「やぎとひつじ」だったり、贈り物の野菜が「かぶとにんじん」などちょっぴり違っていています。絵は、村山知義さんとパリの作家ゲルタ・ミュラーが描いています。雰囲気は似ていますが、訳も少し違っていて、読み比べてみるのも面白いと思います。



今月の本棚…「今年の干支 犬が出てくる絵本」

～「げんきにわんわん」「わんわんにゃーにゃー」「マドレンカのいぬ」「どうながのフレッツェル」「こいぬがうまれるよ」など～



「げんきにわんわん」は、五味太郎さん作です。子犬が外で、わんわん鳴いたり吠えたり追いかけられたりする様子を、お父さん犬(?)とお母さん犬(?)が、ちょっと離れたところでコーヒーを飲みながら見守っています。「ほえていますね」「はい ほえるこはそだつというでしょ」、「ころびましたね」「はいころぶこはそだつというでしょ」などのお父さんとお母さんの会話が楽しくて、こんなふうによつたりとわが子を見守れたらいいなあと思います。背帯に書かれた五味さんの言葉、「とおくにいるのがいいのです。とおくでみているのがいいのです。～略～ なにしろここはそとですからこころよいきよりをたもちます。おうちではべたべたこちょこちょぎゅっです。」ねっ、いいでしょ!!



ほっとフレイク

戌年ということで、めちゃくちゃ個人的な本を1冊紹介したいと思います。わが家はずっと柴犬が大好きで、代々柴犬を飼っています。「シバイヌ主義」は、柴犬による柴犬のための、48(シバ)のスローガンが掲げられています。「思い立ったが、猛ダッシュ」「本能のまま飽きろ」「サービス残業はしない主義」「なでてと尾を振る義理はなし」などマイペースを崩さず、意思が強くはっきり自己主張する柴犬の性質を教えてください。柴犬の魅力満載のスローガンとキュートな柴犬たちの写真に心が和みます。

